

知多市の未来を考える
市民アンケート調査
【単純集計結果】

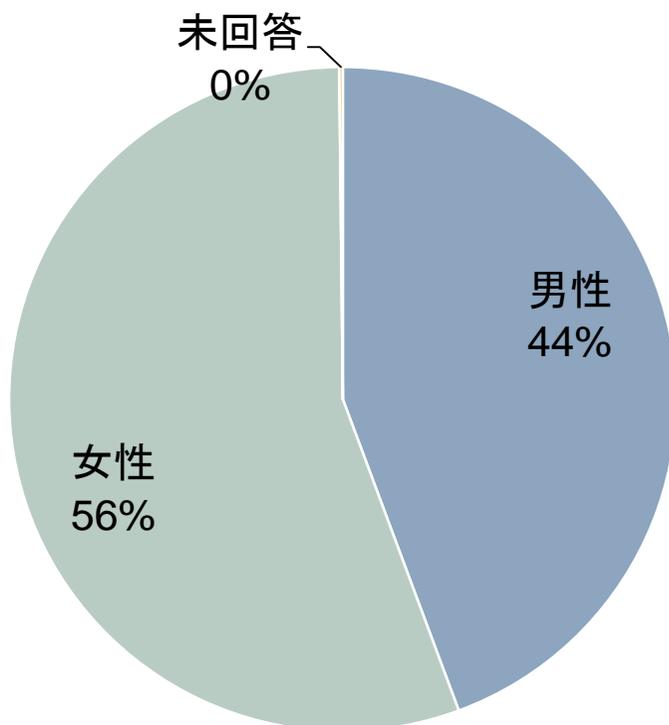
調査の概要

項目	内容	備考
調査名	知多市の未来を考える市民アンケート調査	
対象	知多市在住の16歳以上3,000人	
方法	郵送による調査票の配布・回収	
実施期間	2018年5月25日～6月18日	7月17日着分までを集計
回収数・回収率	1,168通(回収率38.9%)	
その他	<ul style="list-style-type: none">単一回答設問であっても、複数選択による回答のあった設問については、複数回答設問として処理しているものもある。集計結果は百分率で示しているが四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。	

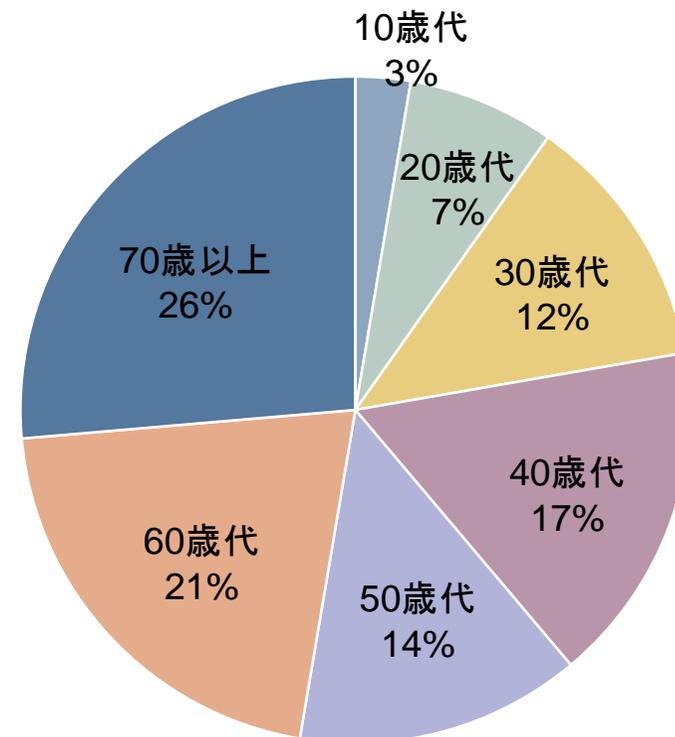
回答者属性(性別、年齢)

- 回答者の性別は「女性」が56%、「男性」が44%とやや女性が多い。
- 年齢は「60歳代・70歳代以上」で47%であった。知多市の人口のうち60歳以上の割合は32%であるから(2015年国勢調査)、実際の人口比よりも本アンケートの回答者は60歳代以上が多い。

Q1 性別...(単一回答)



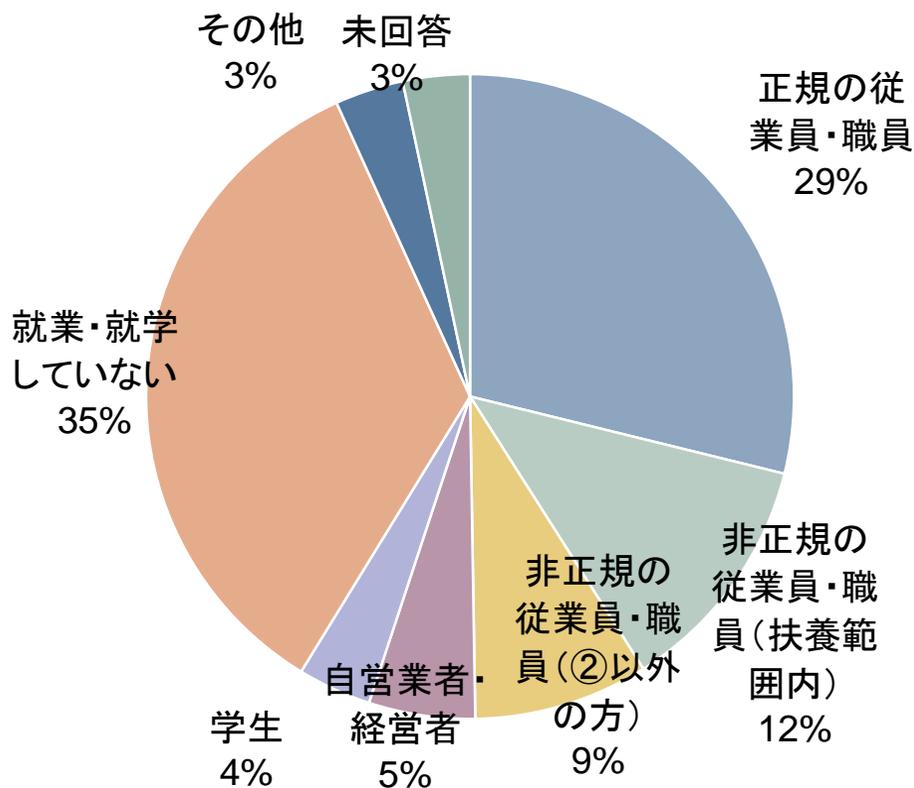
Q2 年齢...(単一回答)



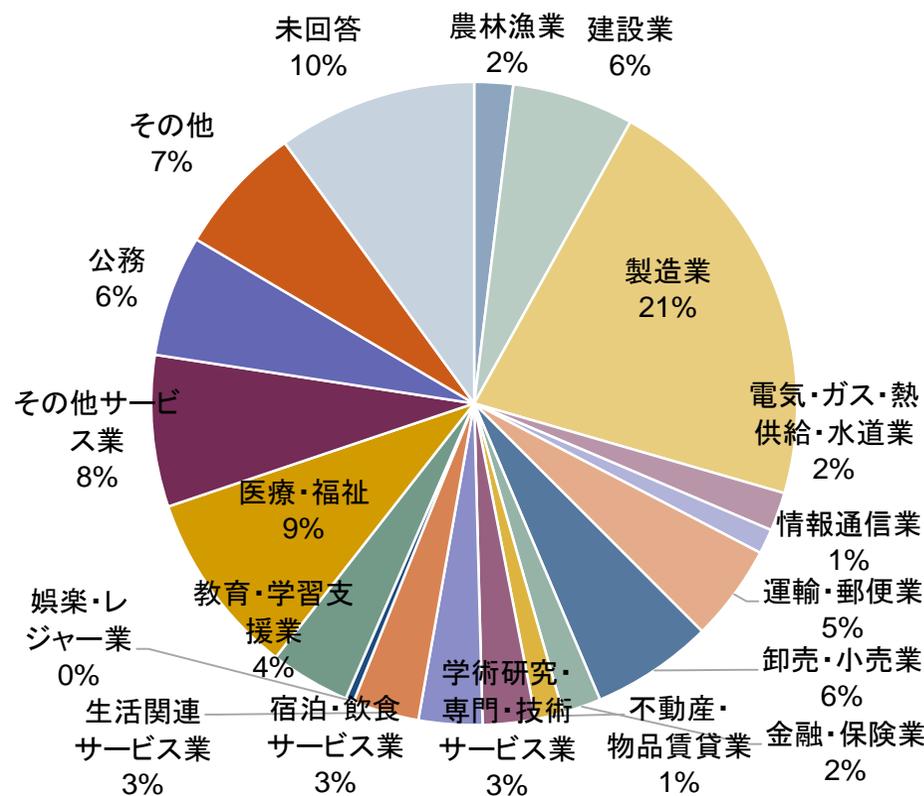
回答者属性(就業形態、業種)

- 就業形態について、一番多いのは「就業・就学していない」の35%であり、二番目に多いのは「正規の従業員・職員」で29%である。
- 業種について、一番多いのは「製造業」で21%であり、二番目は「医療・福祉」の9%である。

Q3 主な職業の就業形態...(単一回答)



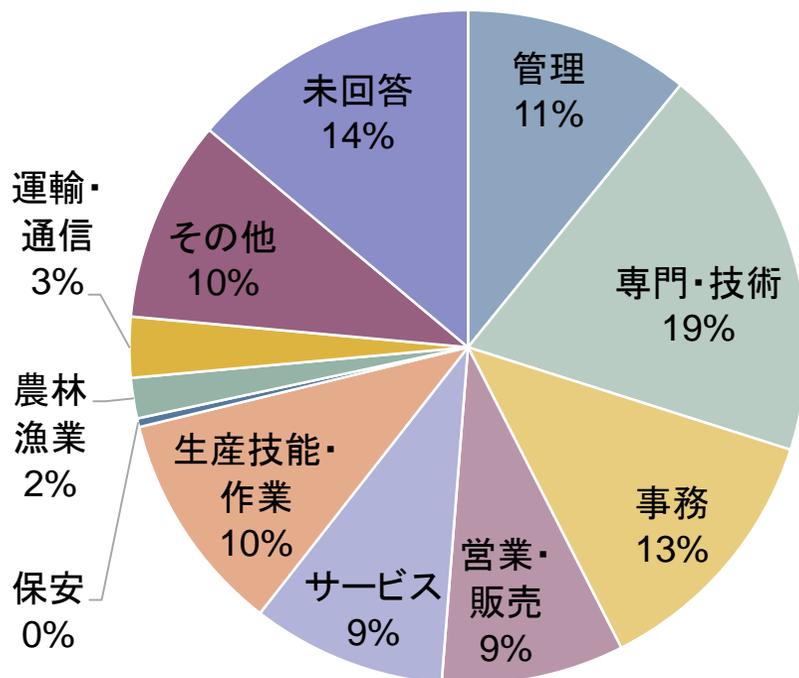
Q4 現在の業種...(単一回答)



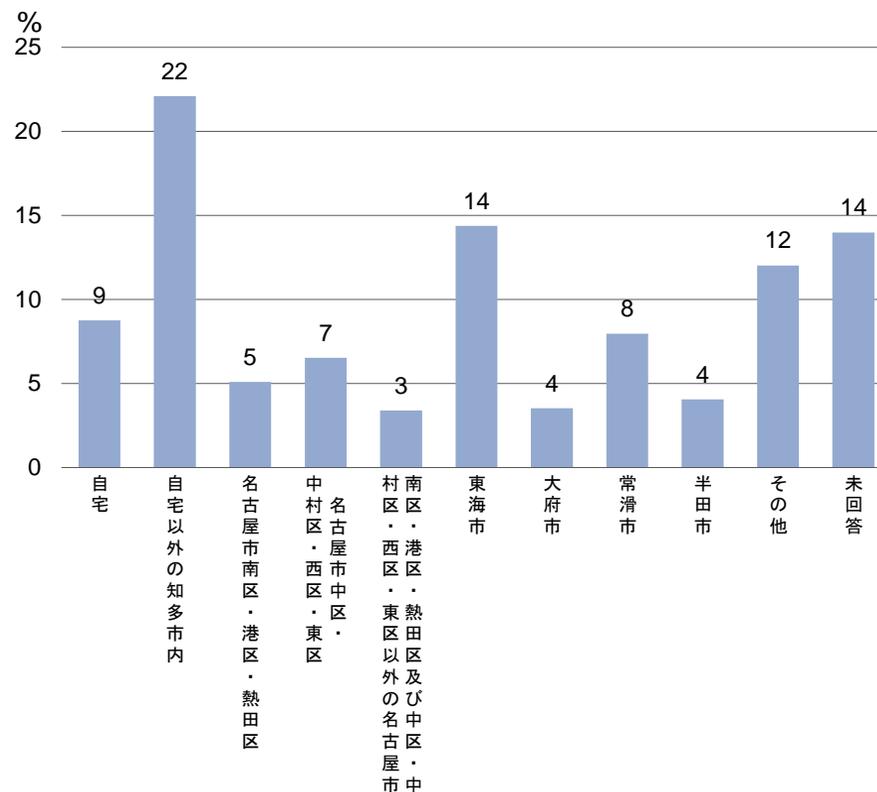
回答者属性(職種、勤務地・通学地)

- 職種について、一番多いのは「専門・技術」の19%、二番目は「事務」の13%。他にも、「管理」、「営業・販売」、「サービス」、「生産技能・作業」等が10%程度である。
- 現在の勤務地は・通学地について、一番多いのは「自宅以外の知多市内」の22%で、自宅を合わせると31%が市内になる。また、「東海市」が14%と続く。

Q5 現在の職種...(単一回答)



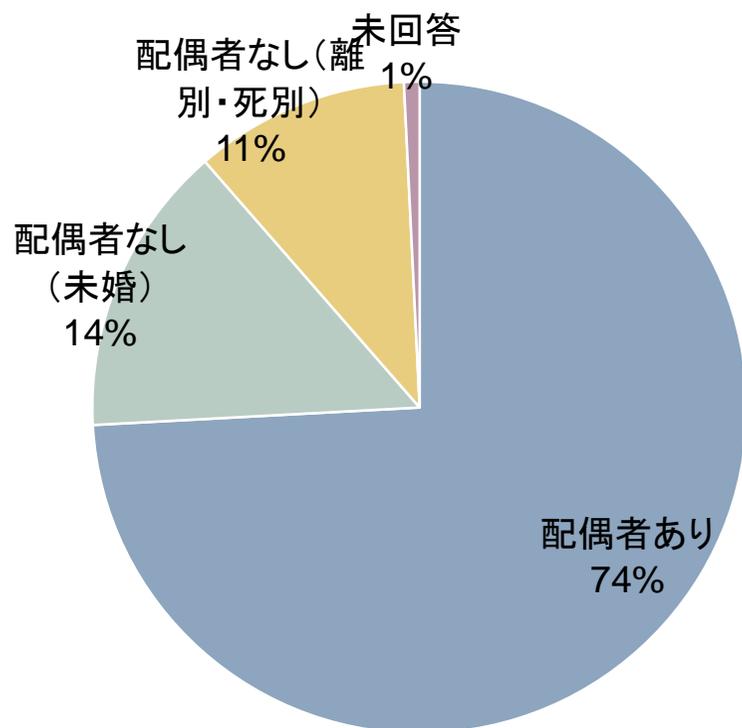
Q6 現在の勤務地・通学地...(複数回答)



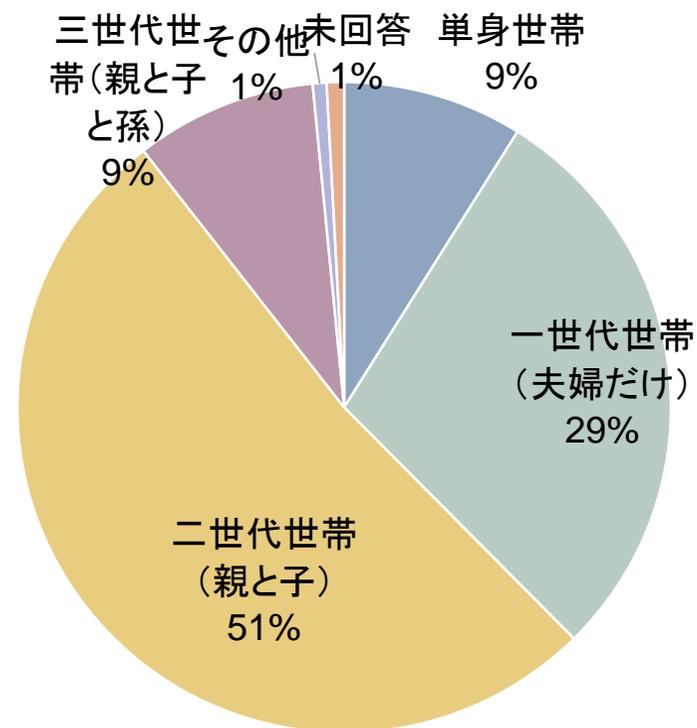
回答者属性(配偶者の有無、家族構成)

- 「配偶者のある方」が74%であった。
- 家族構成について、一番多いのは親と子の「二世帯世帯」であり51%であった。二番目に多いのは夫婦のみの「一世代世帯」で29%。

Q7 配偶者の有無...(単一回答)



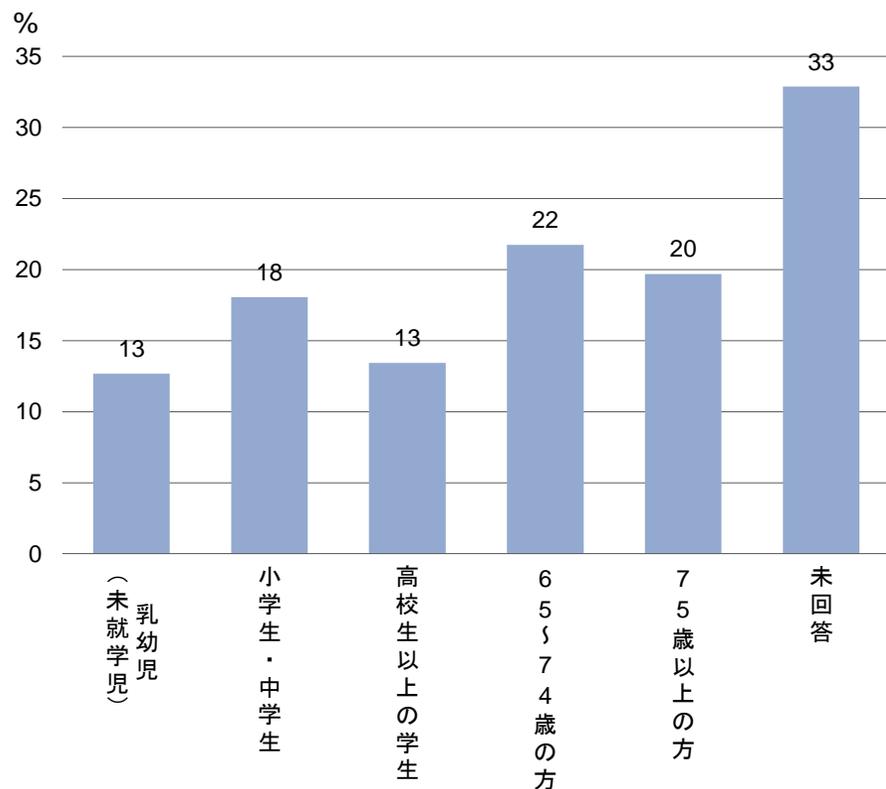
Q8 家族構成...(単一回答)



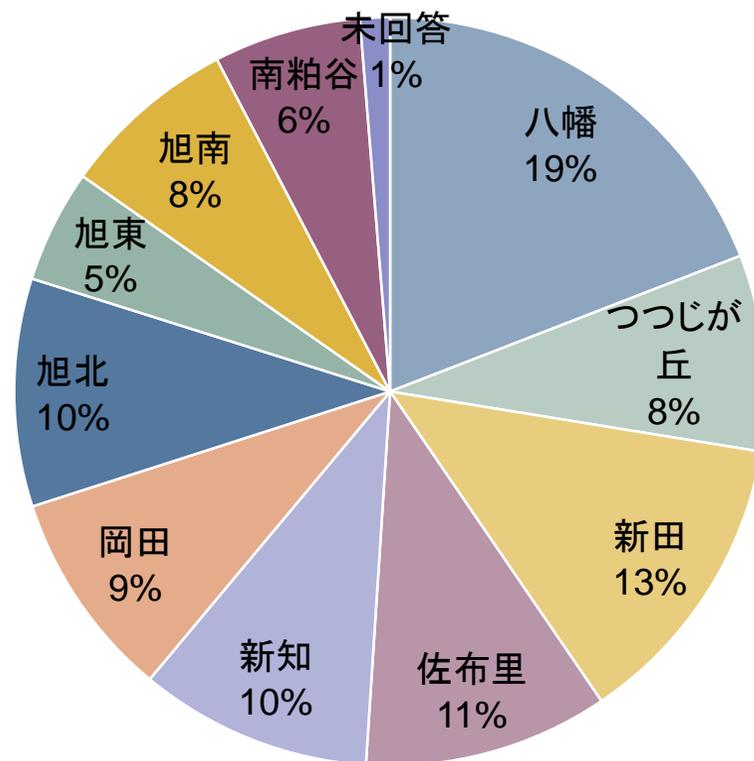
回答者属性(同居家族、住んでいる小学校区)

- 同居家族について、「65～74歳の方」のいる方が一番多く22%である。
- 住んでいる小学校区は「八幡」が一番多く19%であり、「新田」が13%と続く。その他の学区もバランスよく回答されている。

Q9 同居の家族...(複数回答)



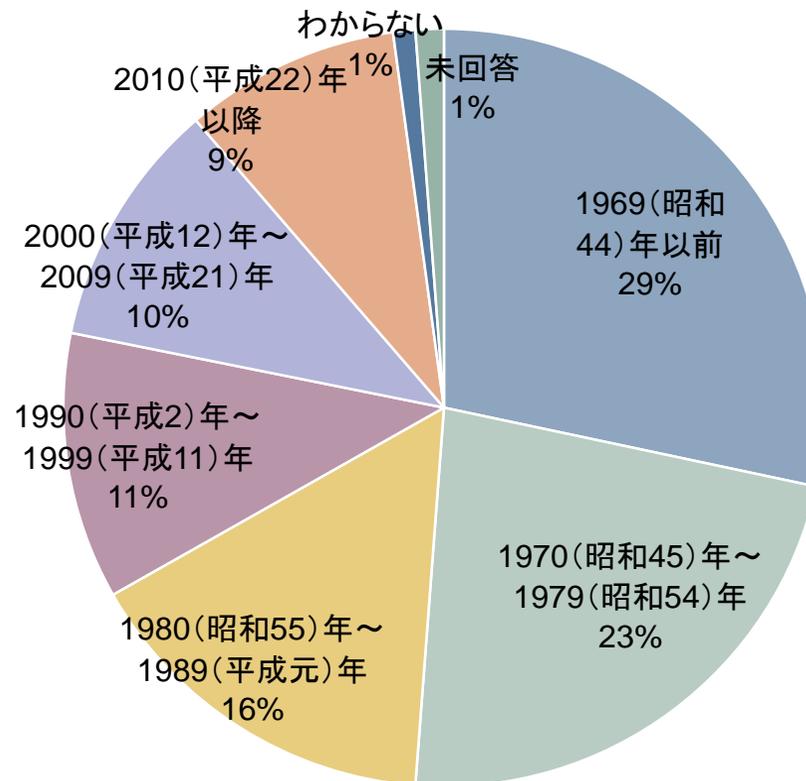
Q10 住んでいる小学校区...(単一回答)



回答者属性(はじめて知多市に居住した時期)

- はじめて知多市に居住した時期は、知多市が誕生する前の「1969年以前」が一番多く29%である。以降は時代が新しくなるほど少ない傾向にある。

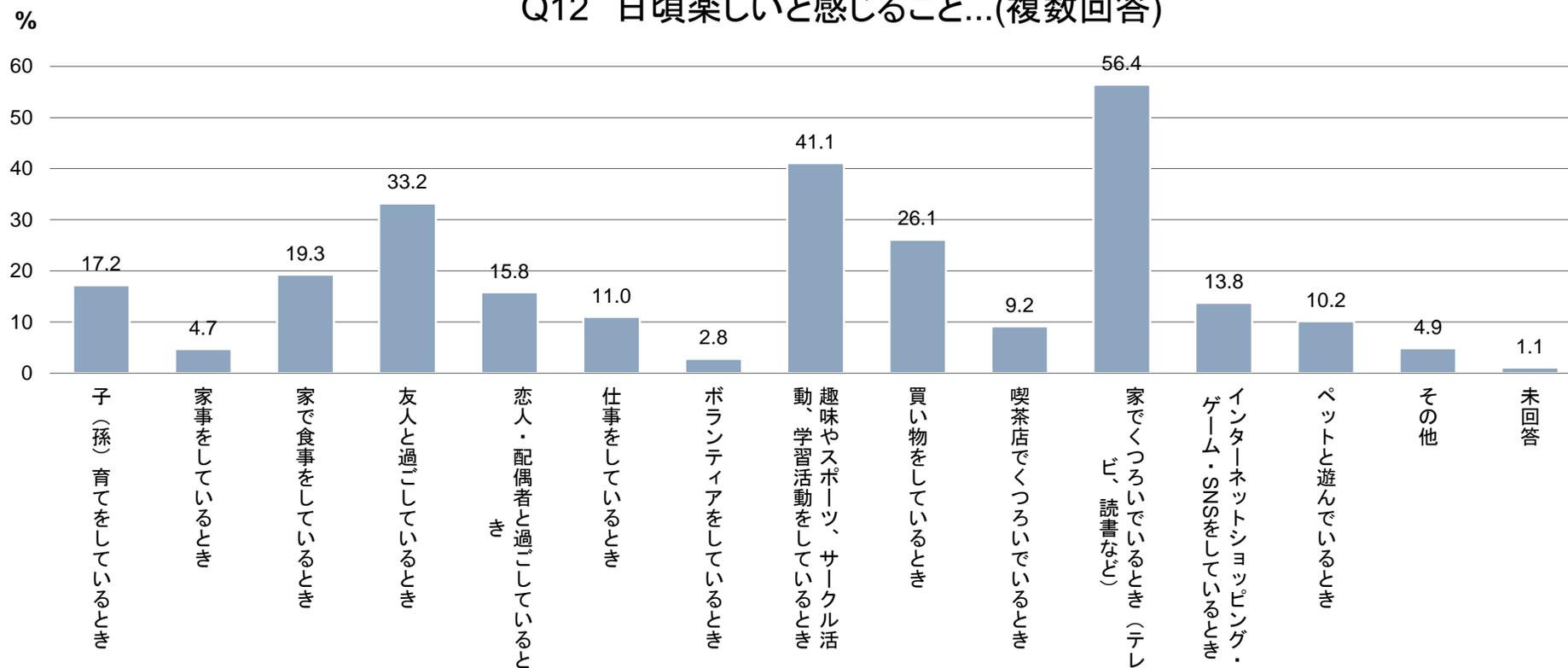
Q11 はじめて知多市に居住した時期...(単一回答)



意識調査結果

- 日ごろ楽しいと感じることについて、一番多いのは「家でくつろいでいるとき」の56%である。
- 二番目には「趣味やスポーツ、サークル活動、学習活動をしているとき」の41.1%、三番目には「友人と過ごしているとき」の33.2%と続く。

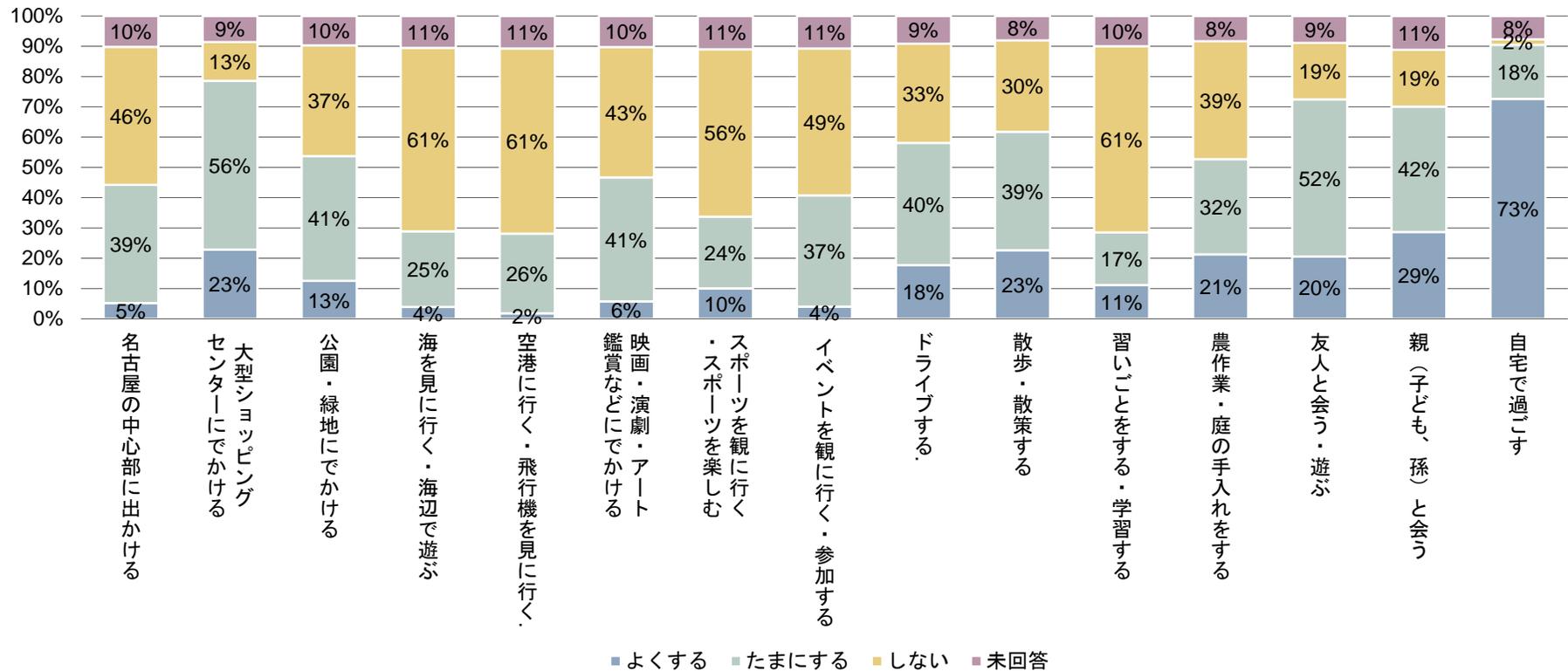
Q12 日頃楽しいと感じること...(複数回答)



意識調査結果

- 休日の過ごし方について、「よくする」・「たまにする」を合わせた割合が一番多いのは「自宅で過ごす」であり91%であった。
- 二番目は「大型ショッピングセンターに出かける」の79%、この他「友人と会う・遊ぶ」や「親(子ども、孫)と会う」が70%を超えた。

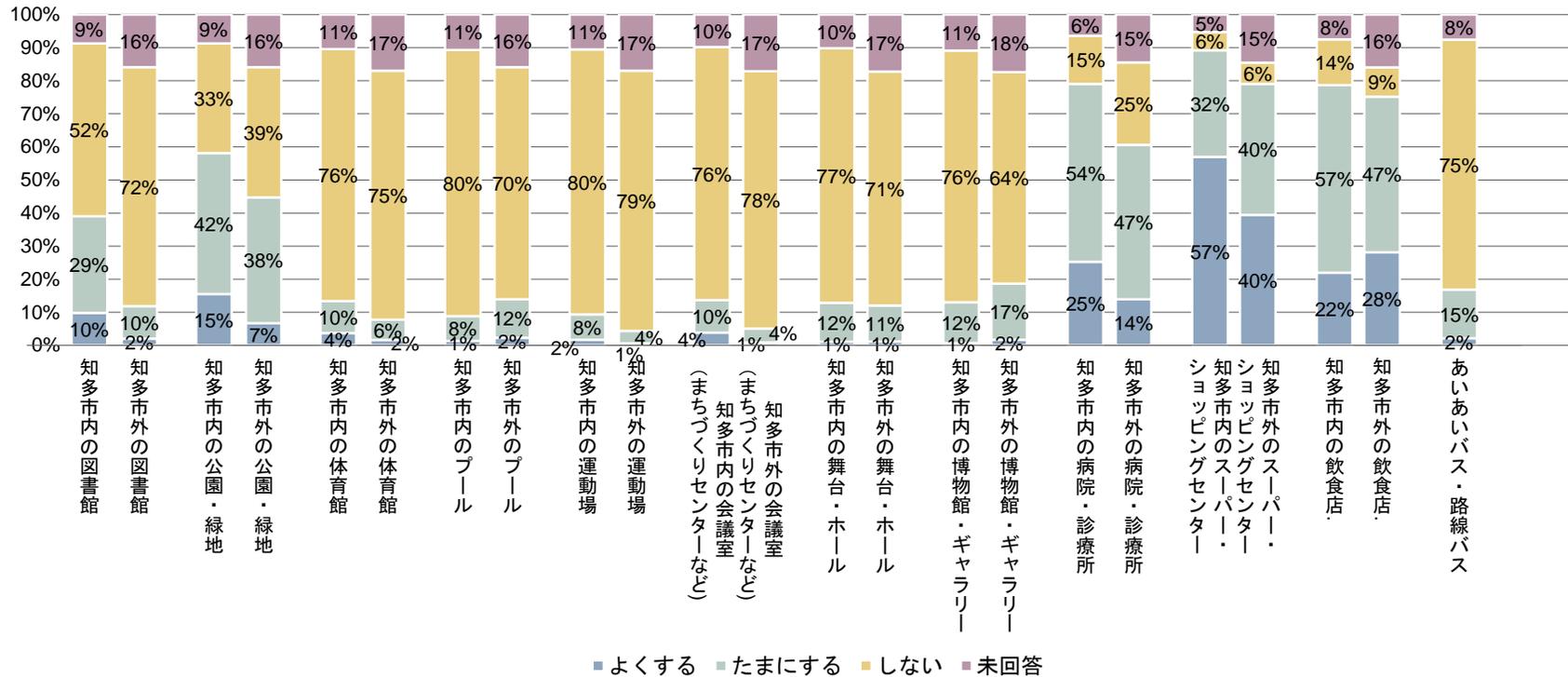
Q13 休日の過ごし方...(単一回答)



意識調査結果

- 施設の利用状況について、知多市外で「よくする」・「たまにする」を合わせた割合が多いのは、「スーパー・ショッピングセンター」の80%、「飲食店」の75%、「病院・診療所」の61%、「公園・緑地」の45%であり、市民の様々な行動が市域を超えていることがわかる。
- 「プール」や「博物館・ギャラリー」は、利用する割合はそれほど高くないものの、市内よりも市外の施設を利用する割合が多い。
- 図書館は市内の施設を使う割合が39%であり、市外の施設(12%)を大きく上回る。

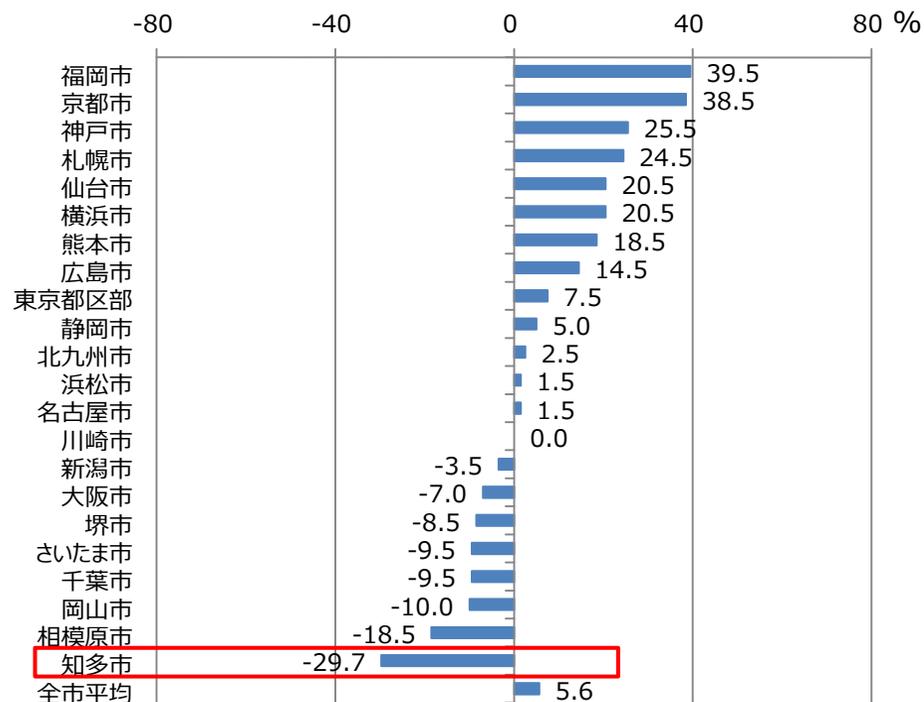
Q14 施設の利用状況...(単一回答)



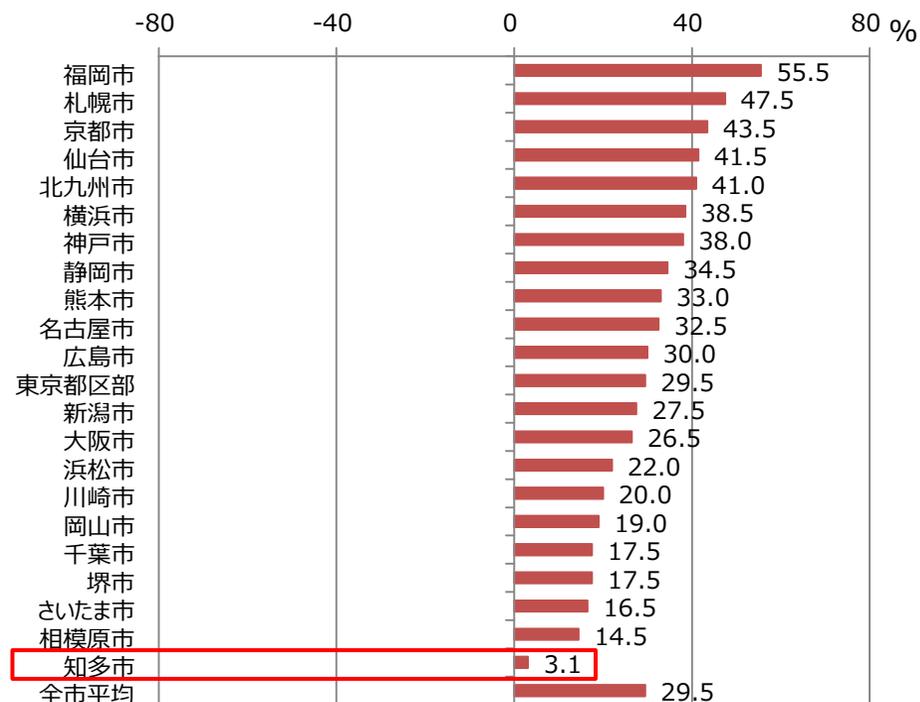
意識調査結果(シビックプライド)

- 知多市に対する愛着や誇りについて、10点から0点までの点数を付けてもらい、その結果をNPSで得点化したところ、知多市に対して「愛着」は感じているものの、「誇り」を感じていない市民が多い。
- 「愛着」と「誇り」ともに、他の大都市(指定都市等)と比べてスコアが小さい。

Q15 - ① 知多市への誇り...(単一回答)



Q15 - ② 知多市への愛着...(単一回答)



※値はNPS(ネットプロモータースコア)を用いた。10~8点を「同意」、7~5点を「中立」、4~0点を「非同意」とした時の、 $NPS = (\text{同意の割合}) - (\text{非同意の割合})$

意識調査結果(シビックプライド)

- 生活の様々な場面(10分野)において、知多市を友人・知人におすすめできるかについて、10点から0点までの点数を付けてもらい、その結果をNPSで得点化した。
- 「住むこと」はおすすめできるという結果になったが、他の大都市(指定都市等)と比べてスコアが小さい。また、「買い物・遊びなどで訪れること」は、とりわけおすすめできない項目の一つとなった。

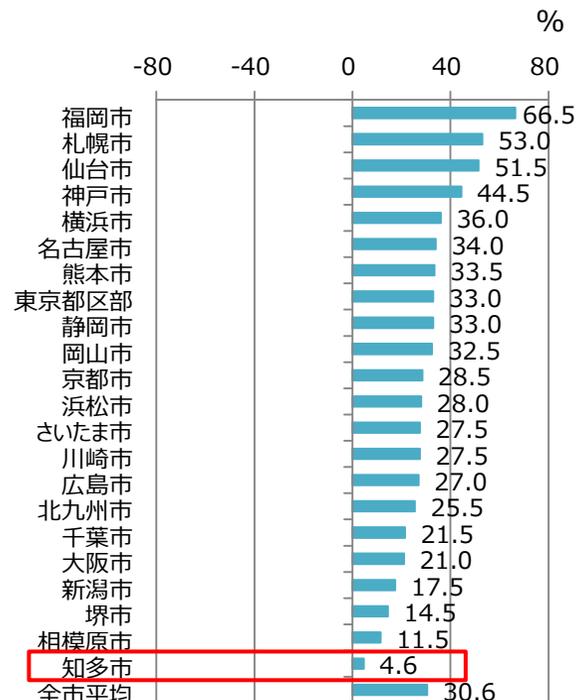
Q16-① 全般的によいまちであること...(単一回答)



Q16-② 買い物・遊びなどで訪れること...(単一回答)



Q16-③ 住むこと...(単一回答)

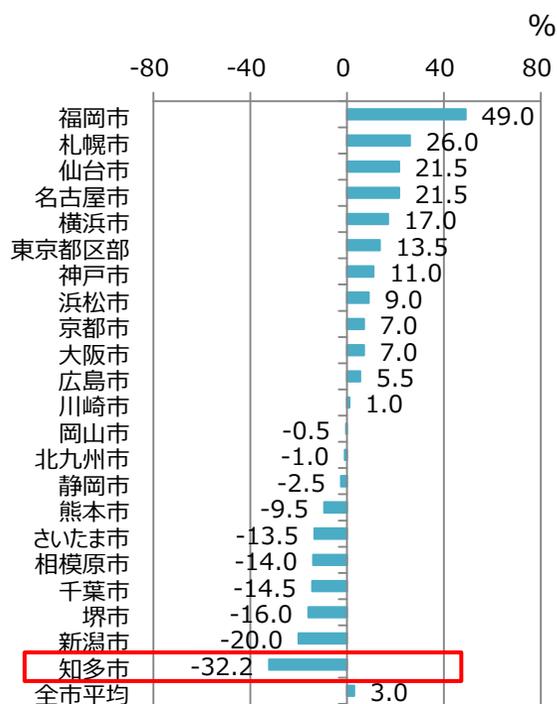


※値はNPS(ネットプロモータースコア)を用いた。10~8点を「同意」、7~5点を「中立」、4~0点を「非同意」とした時の、NPS=(同意の割合)-(非同意の割合)

意識調査結果(シビックプライド)

- 生活の様々な場面(10分野)のおすすめ度合いについて、「アフターファイブを楽しむこと」は、とりわけおすすめできない項目の一つとなった。
- 「働くこと」や「子育てすること」についても、おすすめできない市民が多い。

Q16-④ 働くこと...(単一回答)



Q16-⑤ 子育てすること...(単一回答)



Q16-⑥ アフターファイブを楽しむこと...(単一回答)

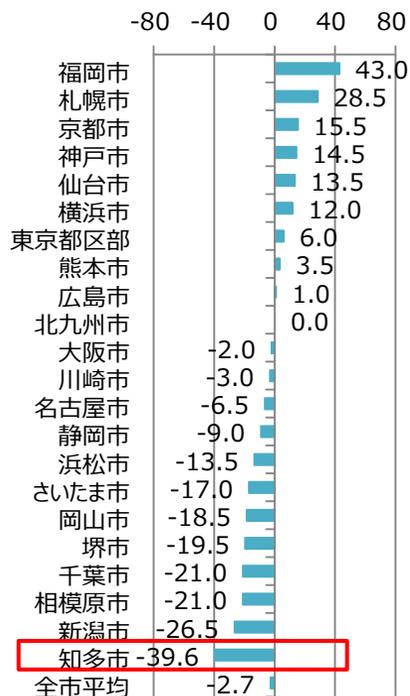


※値はNPS(ネットプロモータースコア)を用いた。10~8点を「同意」、7~5点を「中立」、4~0点を「非同意」とした時の、NPS=(同意の割合)-(非同意の割合)

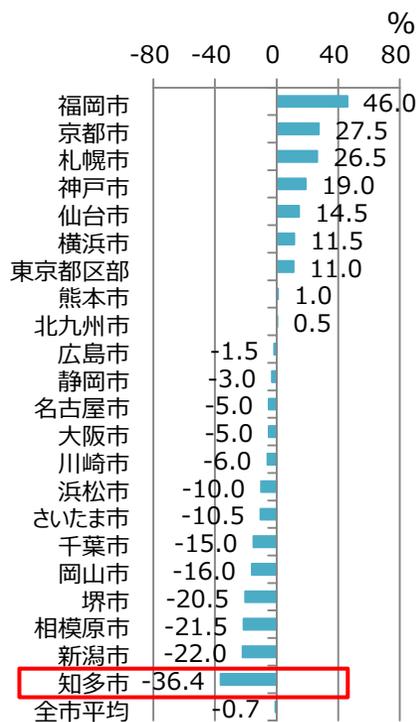
意識調査結果(シビックプライド)

- 生活の様々な場面(10分野)のおすすめ度合いについて、「多様性があること」や「デートすること」は、とりわけおすすめできない項目の一つとなった。
- 「いろいろな人と交友を深めること」や「趣味や教養を深めること」もおすすめできない。

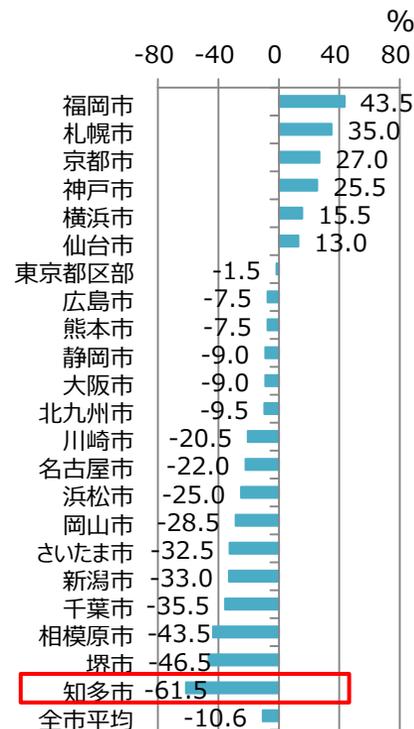
Q16-⑦ いろいろな人と交友を深めること...(単一回答) %



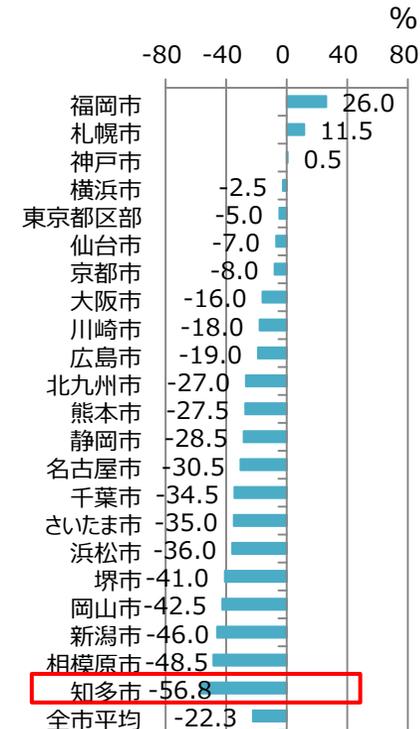
Q16-⑧ 趣味や教養を深めること...(単一回答) %



Q16-⑨ デートすること...(単一回答) %



Q16-⑩ 多様性があること...(単一回答) %

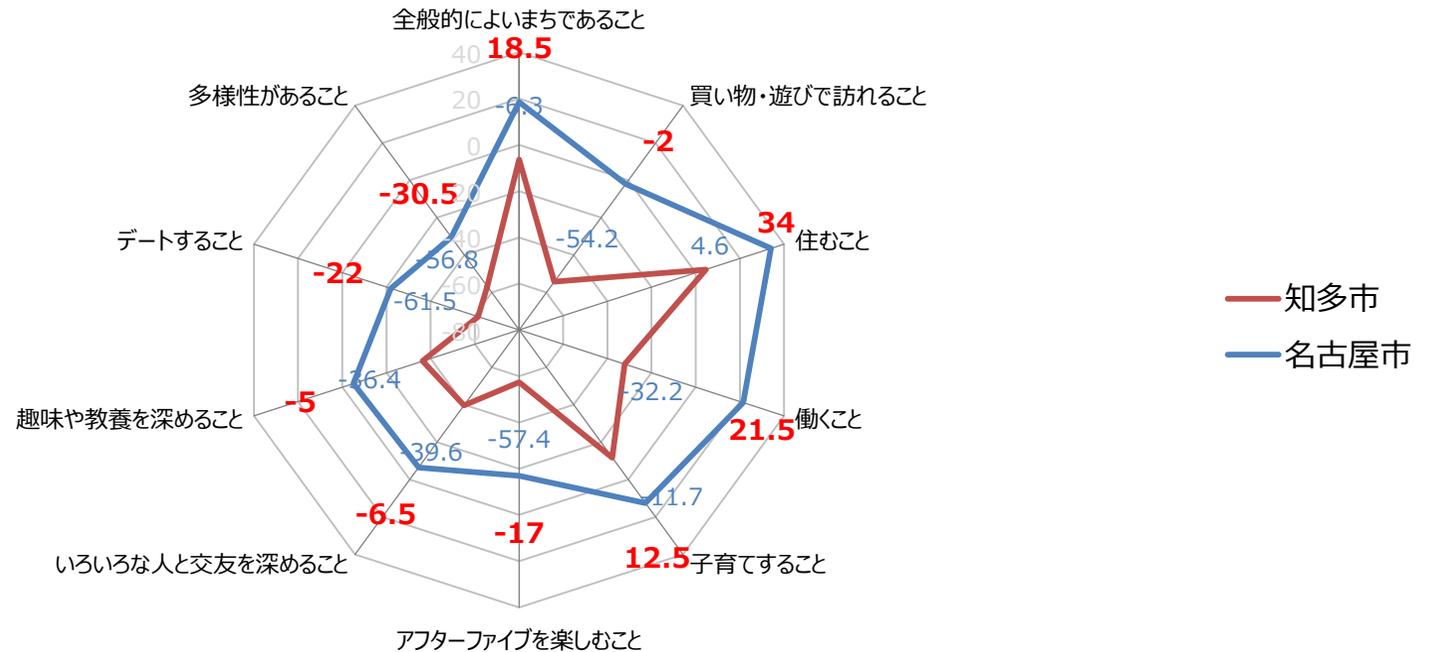


※値はNPS(ネットプロモータースコア)を用いた。10~8点を「同意」、7~5点を「中立」、4~0点を「非同意」とした時の、NPS=(同意の割合)-(非同意の割合)

意識調査結果(シビックプライド)

- 名古屋市とスコアを比較すると、知多市はいずれのスコアも下回ったが、特に「買い物・遊びで訪れること」、「働くこと」、「アフターファイブを楽しむこと」、「デートすること」のスコアが著しく小さい。

Q-16について名古屋市との比較

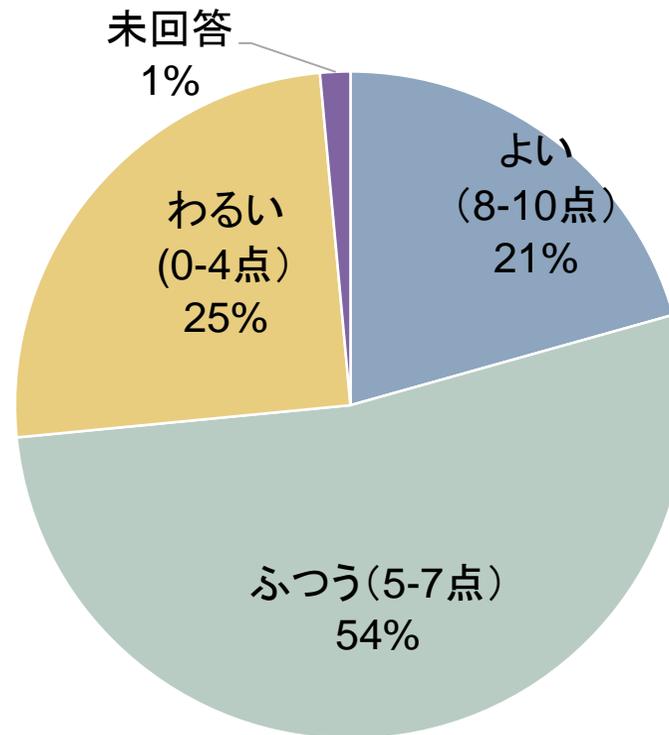


※値はNPS(ネットプロモータースコア)を用いた。10~8点を「同意」、7~5点を「中立」、4~0点を「非同意」とした時の、 $NPS = (\text{同意の割合}) - (\text{非同意の割合})$

意識調査結果

- 知多市のイメージについて、10点から0点までの点数を付けてもらったところ、「わるい」(25%)が「よい」(21%)を若干上回った。市民にとって、市のイメージは必ずしも良くない。

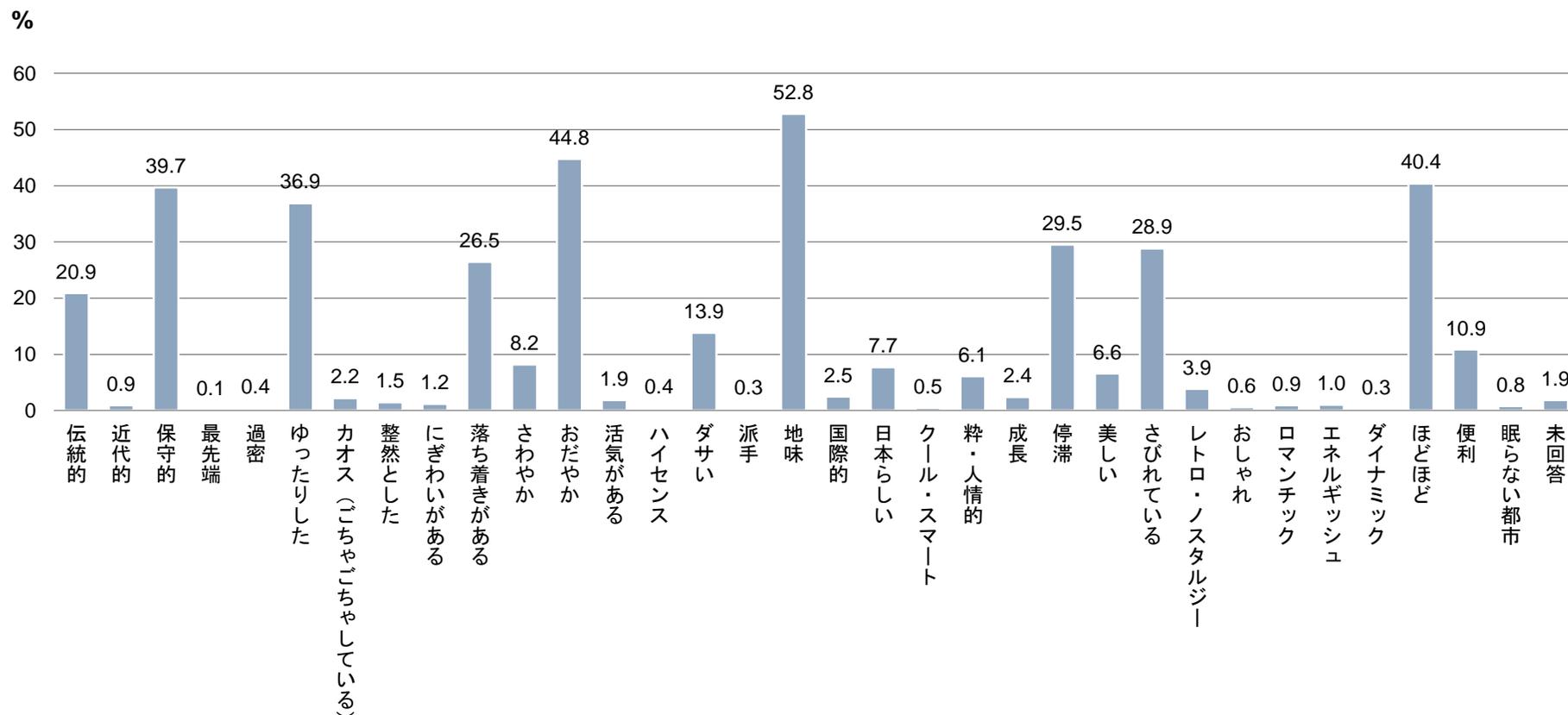
Q17 知多市のイメージ...(単一回答)



意識調査結果

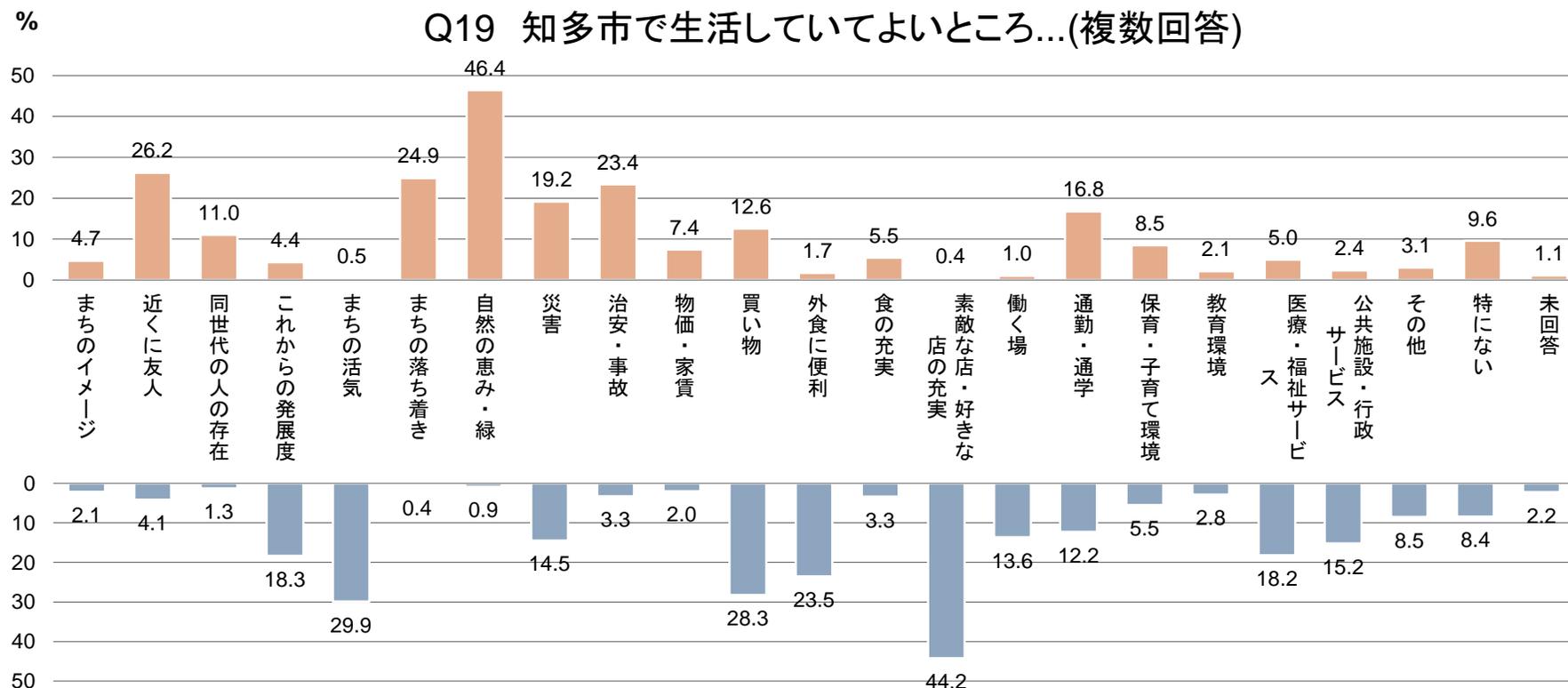
- 都市に関する33のイメージのうち、知多市にあてはまるものを全て選択してもらったところ、最も多くなったのは「地味」で52.8%であった。
- 続いて、「おだやか」の44.8%、「ほどほど」の40.4%が続く。

Q18 知多市にあてはまるイメージ...(複数回答)



意識調査結果

- 知多市で生活していてよいと思うところについて、「自然に恵まれている・緑豊か」(46.4%)、「近くに友人がいる」(26.2%)、「まちが落ち着いている」(24.9%)、「治安がよい・事故の心配が少ない」(23.4%)が多く回答された。
- 嫌だと思うところについて、「素敵な店が少ない・好きながない」(44.2%)、「まちに活気がない」(29.9%)、「買い物に不便」(28.3%)、「外食に不便」(23.5%)といった点が多く回答された。

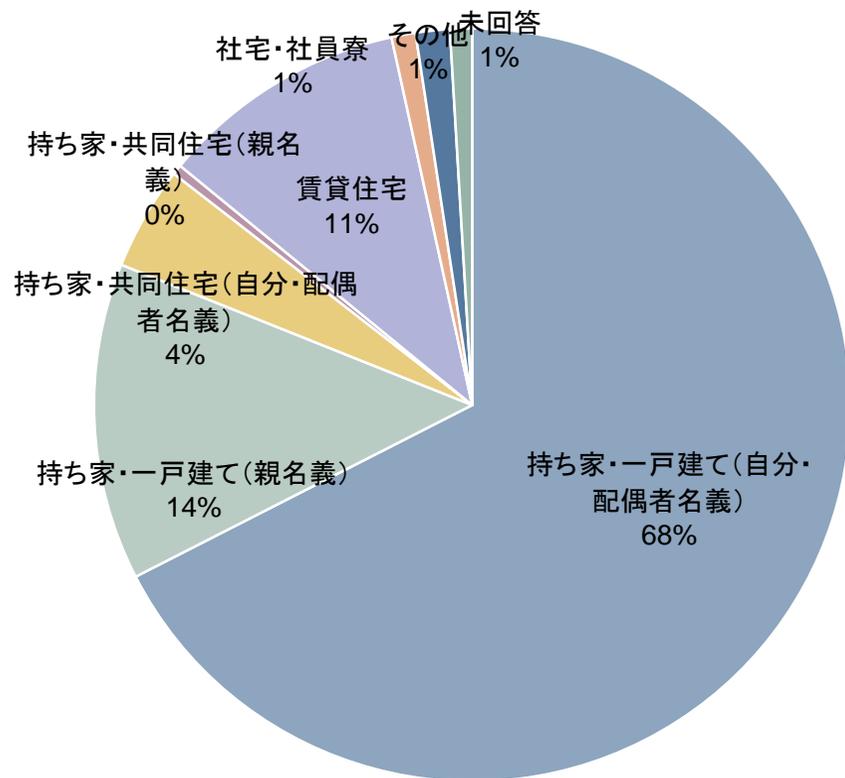


Q20 知多市で生活していて嫌なところ...(複数回答)

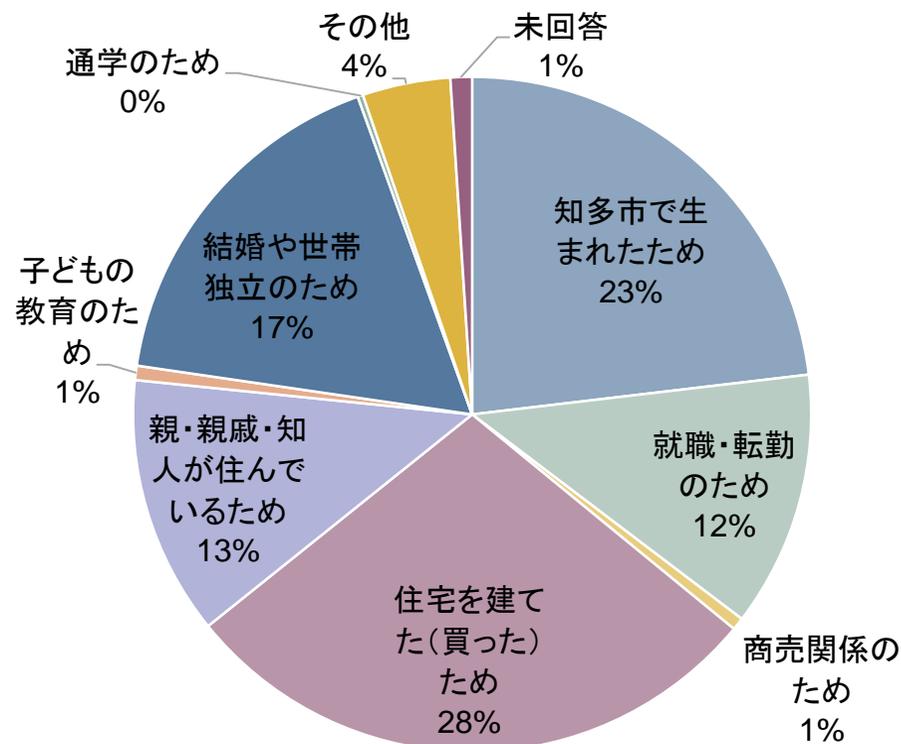
意識調査結果

- 現在の住まいについて、持ち家が86%程度を占めている。
- 知多市に居住したきっかけについて、「住宅を建てた(買った)ため」が最多で28%、続いて「知多市で生まれたため」が23%であった。

Q21 現在の住まい...(単一回答)



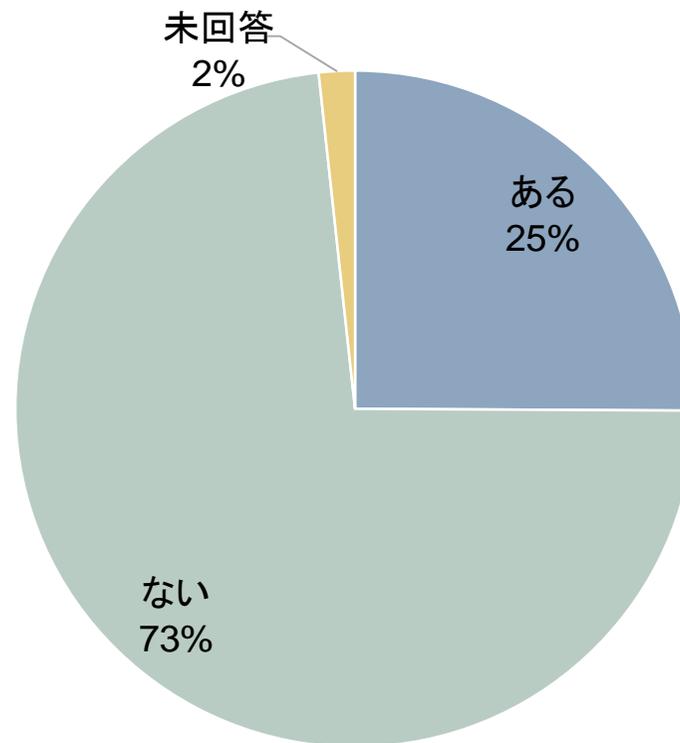
Q22 居住のきっかけ...(単一回答)



意識調査結果

- 現在住んでいる家から住み替えする可能性について、25%が「ある」と答えた。

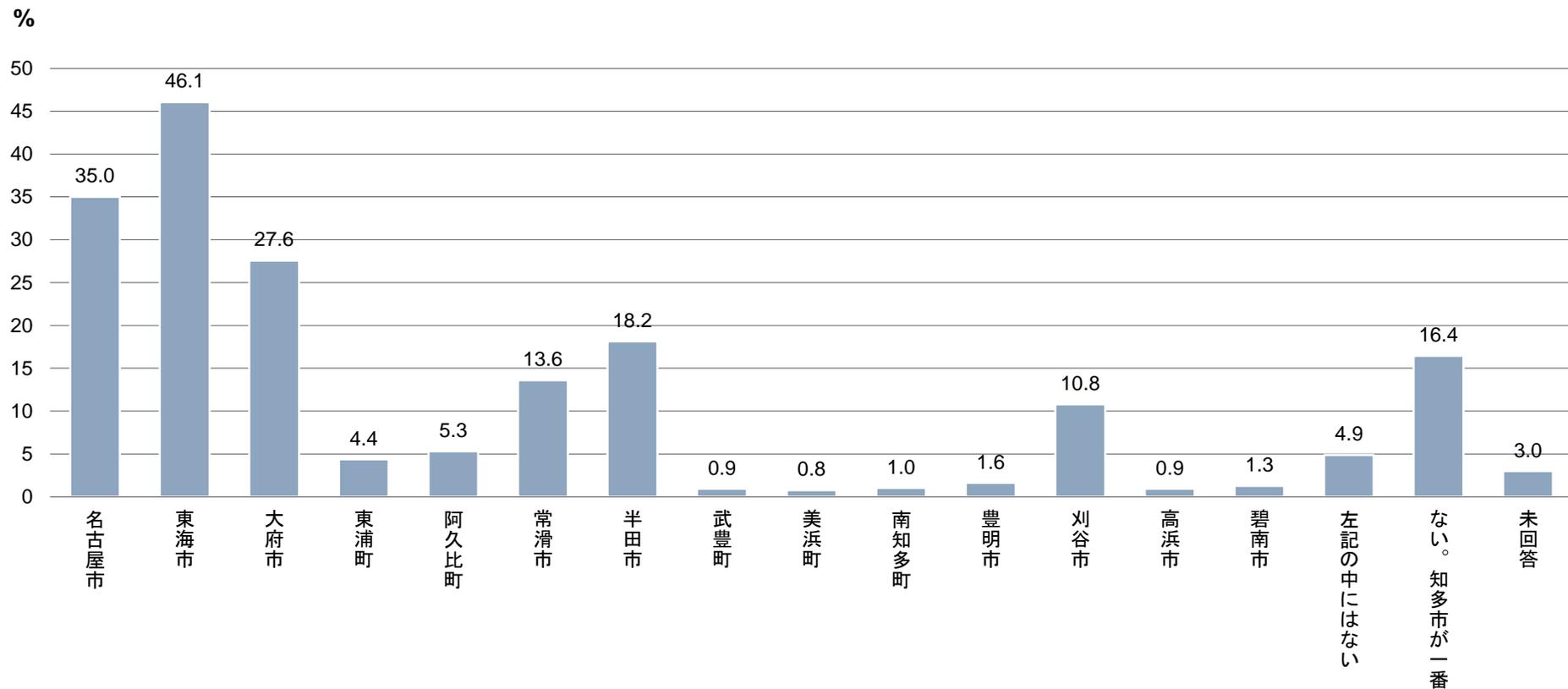
Q23 住み替えの可能性の有無...(単一回答)



意識調査結果

- 知多市より暮らしやすそうな近隣のまちについて、「東海市」(46.1%)、「名古屋市」(35.0%)、「大府市」(27.6%)が多く挙げられた。
- 「ない。知多市が一番」は16.4%にとどまり、多くの市民が知多市よりも暮らしやすそうと感じるまちがあることがわかった。

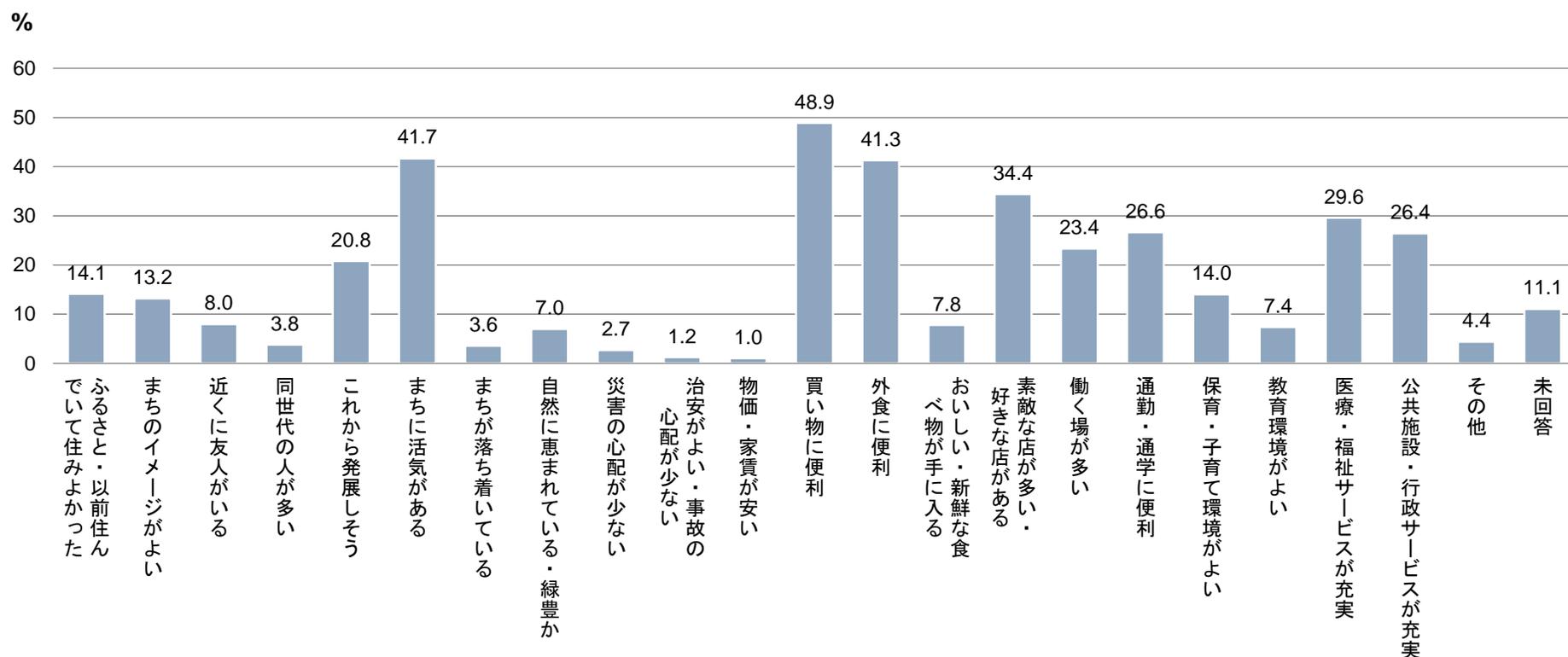
Q24 知多市より暮らしやすそうな近隣のまち...(複数回答)



意識調査結果

- 近隣のまちが知多市より暮らしやすそうな理由について、「買い物に便利」(48.9%)、「まちに活気がある」(41.7%)、「外食に便利」(41.3%)、「素敵なお店が多い・好きな店がある」(34.4%)が多く挙げられた。これらは、知多市で生活していて嫌だと思ふところと概ね一致する。

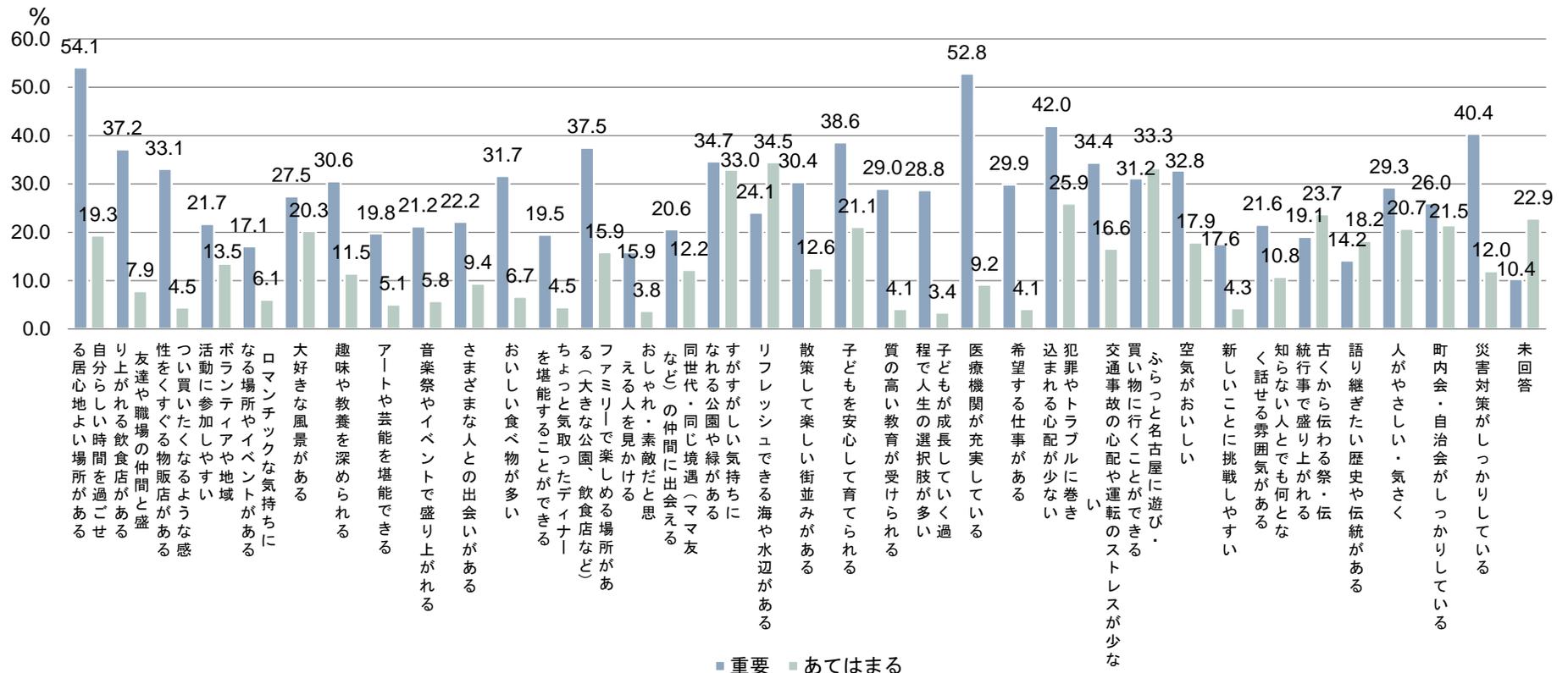
Q25 知多市より暮らしやすそうな理由...(複数回答)



意識調査結果

- 「知多市で暮らしていくうえで重要と思うこと」と「知多市にあてはまるもの」を全て選択してもらったところ、重要と思う割合があてはまると思う割合を大きく下回ったものは、「医療機関が充実している」、「自分らしい時間を過ごせる居心地の良い場所がある」、「友達や職場の仲間と盛り上げられる飲食店がある」等である。
- 「知多市にあてはまる」が多かったのは、「名古屋に遊び・買い物に行くことができる」(33.3%)、「海や水辺」(34.5%)、「公園や緑」(33.0%)であった。

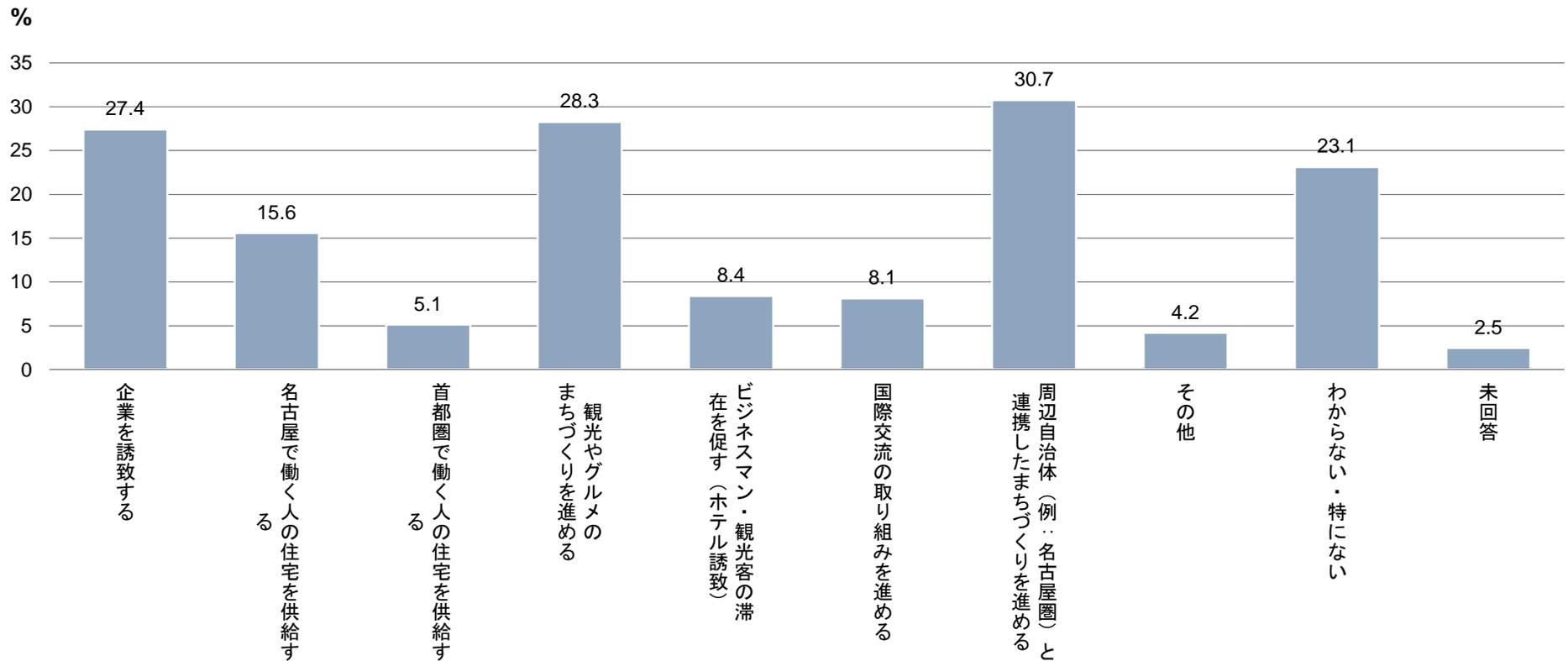
Q26-①、② 知多市で暮らしていくうえで重要と思うこと、知多市にあてはまるもの...(複数回答)



意識調査結果

- リニア中央新幹線の開通に向けて知多市で取り組むべきことについて、「周辺自治体と連携したまちづくり」(30.7%)、「観光やグルメのまちづくり」(28.3%)、「企業誘致」(27.4%)が多く回答された。

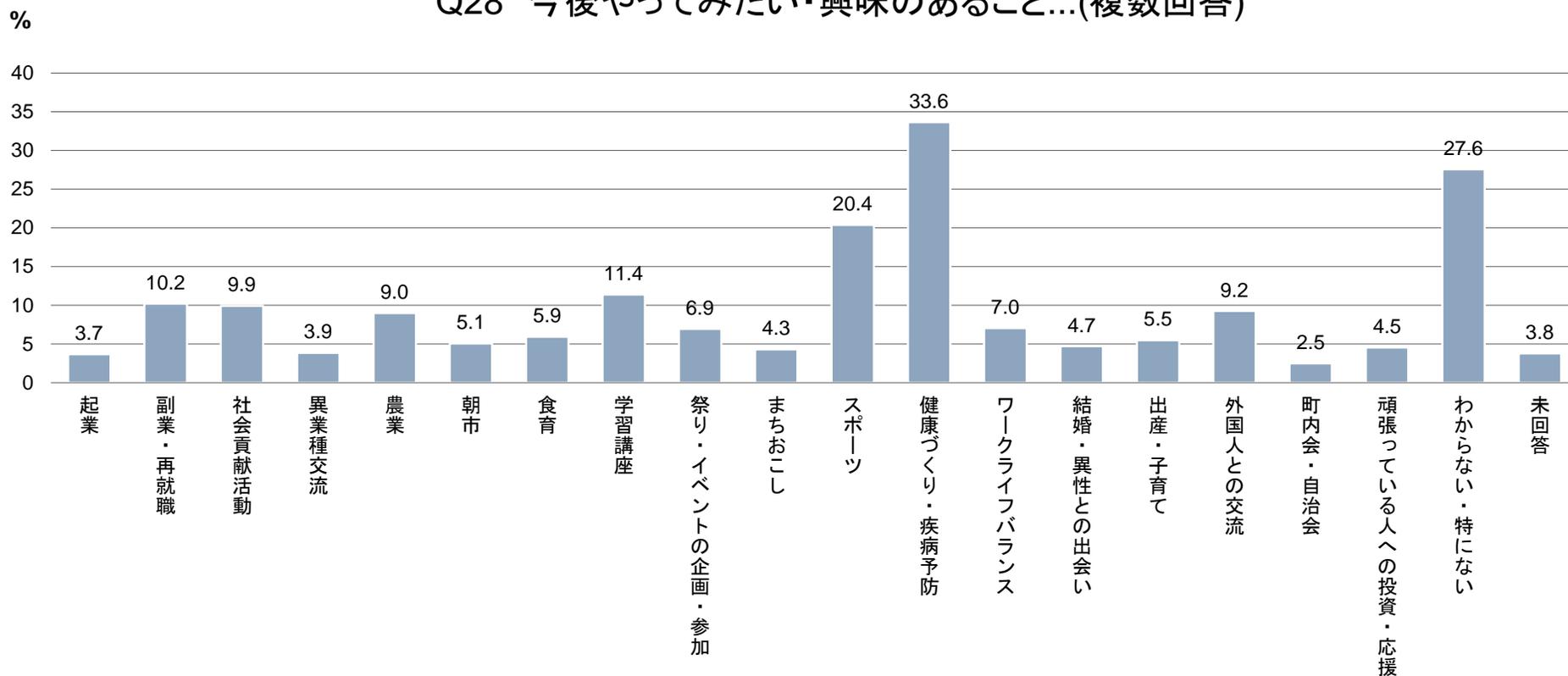
Q27 リニア中央新幹線の開通に向けて知多市で取り組むべきこと...(複数回答)



意識調査結果

- 今後やってみたい・興味のあることについて、「健康づくり・疾病予防」が一番多く33.6%であった。二番目は「わからない・特にない」で27.6%、三番目は「スポーツ」で20.4%であった。

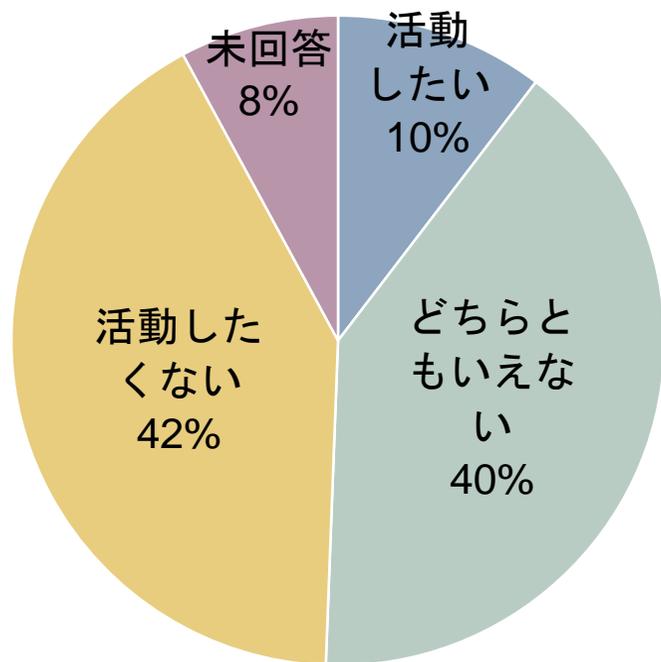
Q28 今後やってみたい・興味のあること...(複数回答)



意識調査結果

- 知多市を魅力的なまちにするための活動意向について、10点から0点までの点数を付けてもらったところ、「活動したい」が10%、「どちらともいえない」が40%、「活動したくない」が42%であった。
- 魅力的なまちにするために活動している人たちに感謝の気持ちを伝えることについて、10点から0点までの点数を付けてもらったところ、「気持ちを伝えたい」が38%、「どちらともいえない」が40%、「伝えたいと思わない」が18%であった。

Q29-① 知多市を魅力的なまちにするための活動意向 ...(単一回答)



Q29-② 知多市を魅力的なまちにするために活動している人たちへの感謝...(単一回答)

